

令和 2 年（2020 年）シカ年度 エゾシカ対策事業結果

1. 遺産地域内（環境省釧路自然環境事務所）

(1) 令和 2 年(2020 年)シカ年度 エゾシカ捕獲進捗状況

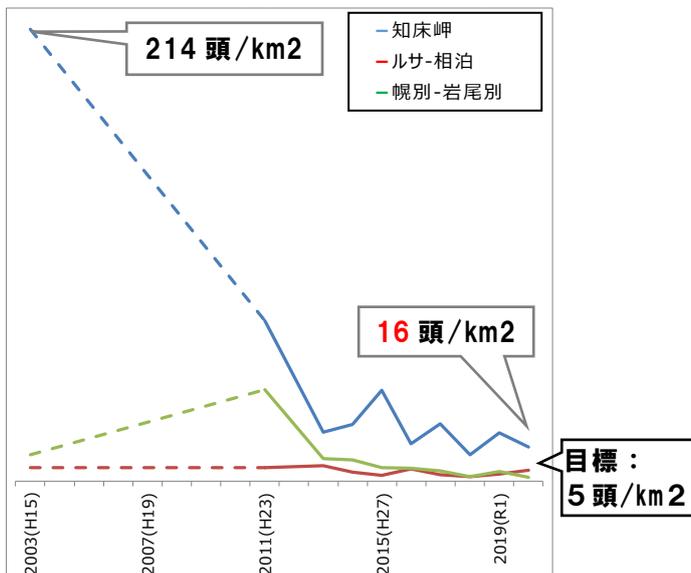
令和 2 年(2020 年)シカ年度 地区別・捕獲手法別エゾシカ捕獲合計頭数一覧（2/28 時点）

捕獲手法	幌別-岩尾別地区	ルサ-相泊地区	知床岬地区	総計
くくりわな	24 (内メス 12)	19 (内メス 10)	—	43
流し猟式 シャープシューティング	4 (内メス 4)	—	—	4
誘引狙撃	13 (内メス 4)	—	—	13
囲いわな	13 (内メス 0)	—	—	13
忍び猟	—	—	—	—
計	54	19	—	73

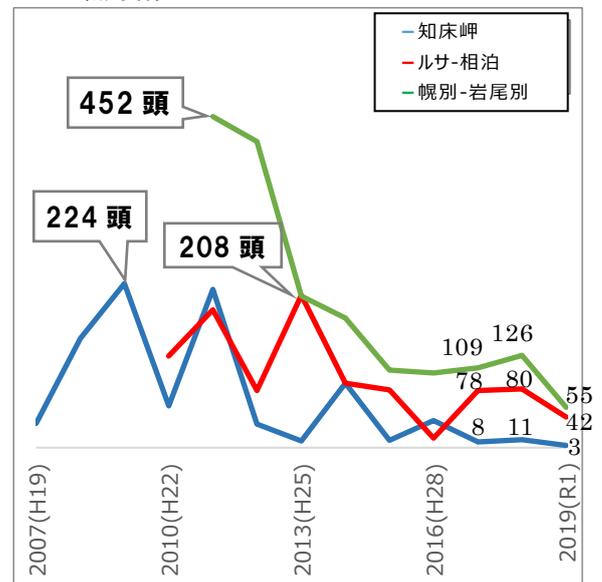
環境省による捕獲事業区



冬季にヘリから確認したシカの密度



シカ捕獲数



(2) より効率的な捕獲手法の導入について

①日没時銃猟 (計画)

これまでの捕獲手法に加えて、日没後1時間延長して捕獲を実施します。

実施区域	幌別-岩尾別 (斜里町)	ルサー-相泊 (羅臼町)
場所	岩尾別台地上	道道87号線
時期	1月～4月 日没後1時間 (10日程度)	3月～4月 日没後1時間 (5日程度)
方法	・誘引狙撃 ・立入制限	・誘引狙撃 ・通行止め
捕獲目標頭数	25頭 (日中も含む)	20頭 (日中も含む)

日没時銃猟実施区域

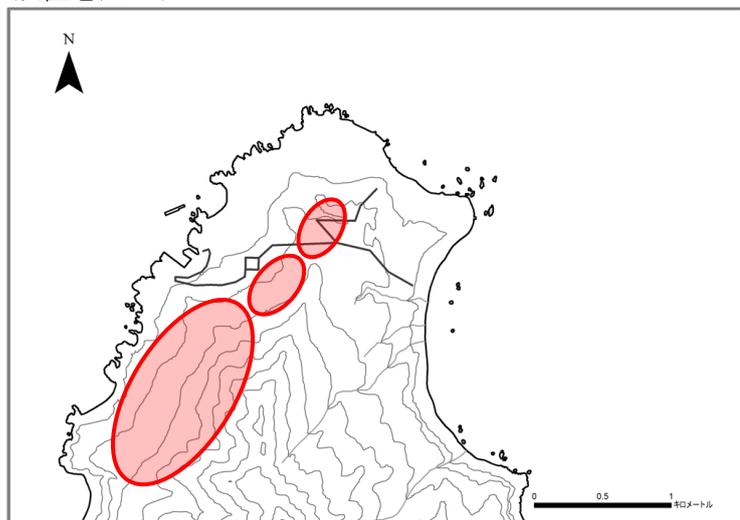


②捕獲個体の残置 (計画)

知床岬において、捕獲個体を残置します。

実施区域	知床岬地区の内、 啓吉湾以南 (右図の区域を想定)
時期	2月～5月頃 銃猟においては日出 から日没までとする
方法	銃 猟 (非鉛弾使用) わな猟 (くくりわな及び 囲いわなを想定)
残置数	20頭 (見込み)

残置想定エリア



※①②について、4月以降の実施内容は変更 (縮小) する場合があります。

③令和2年(2020年)シカ年度 遺産地域内におけるエゾシカ個体数調整事業

令和2年(2020年)シカ年度 遺産地域内におけるエゾシカ個体数調整事業

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
			シカ季節移動		流水期 積雪十分に					シカ季節移動	
				岩尾別～五湖間道道冬期閉鎖 11月下旬～4月下旬							
モニタリング		スポットライトセンサス (秋期集中)				航空カウント調査 (遺産地域内)			スポットライトセンサス (春期集中)		
知床 岬	①. 流水期 ヘリ捕獲 (くくりわな、囲いわな)					新たな個体数調整手法について 必要な情報の収集・検討					
	②. 海明け後 船捕獲 (待ち伏せ狙撃、忍び猟)							船捕獲4回程度 (捕獲個体の残置)			
ル サ ・ 相 泊 地 区	①. くくりわな (相泊-崩浜南部、昆布浜付近、ルサ川左岸 周辺)				わな設置	餌付け+捕獲	ワナ撤去				
	②. 誘引狙撃(待ち伏せ式) (崩浜南部)							馴致・餌付け 餌付け+捕獲(計15回程度)			
	③. 流し猟式SS (北浜-相泊: 道道知床公園扉白線)	道路管理者等 関係機関との調整	シカ 道路法面に散在				馴致・餌付け	餌付け+捕獲(計5回程度、日没時統系)	シカ 道路法面に集中		
幌 別 ・ 岩 尾 別 地 区	①. 仕切柵を用いた大型囲いわな式 捕獲 (岩尾別台地)				餌付け+捕獲		シカ海食台地線、道路法面に集中				
	②. くくりわな (幌別川-知床自然センター、ポロピナイ 周辺)				ワナ設置	餌付け+捕獲	ワナ撤去				
	③-④. 誘引狙撃(待ち伏せ式) (岩尾別ふ化場通路、岩尾別台地上)				馴致・餌付け	餌付け+捕獲(最大週2回、計10回程度、日没時統系)		餌付け+捕獲(最大週2回、計5回、日没時統系)			
	⑤. 流し猟式SS (待ち伏せ式、忍び猟) (100平米運動地作業道)									捕獲 (最大週2回、計6回頻度)	

※4月以降の実施内容は変更(縮小)する場合があります。

2 隣接地域（林野庁知床森林生態系保全センター） 遺産隣接地域（林野庁知床森林生態系保全センター）

【事業結果】

令和2年(2020年)シカ年度 地区別・捕獲手法別エゾシカ捕獲頭数一覧 (2/28時点)

捕獲手法	ウトロ東地区	オシンコシン地区	春茹古丹地区	総計
囲いわな	—	—	0	0
箱わな	—	—	1	1
くくりわな	27	58	33	118
計	27	58	34	119

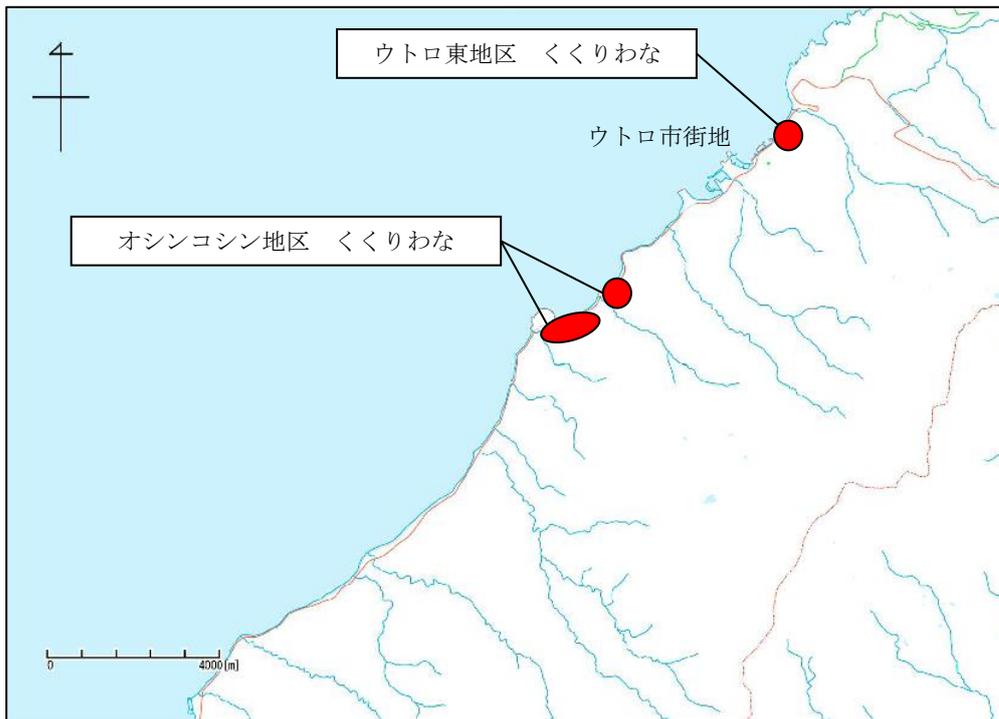


図1：遺産隣接地域におけるR2シカ年度エゾシカ捕獲事業実施地点（ウトロ地区）

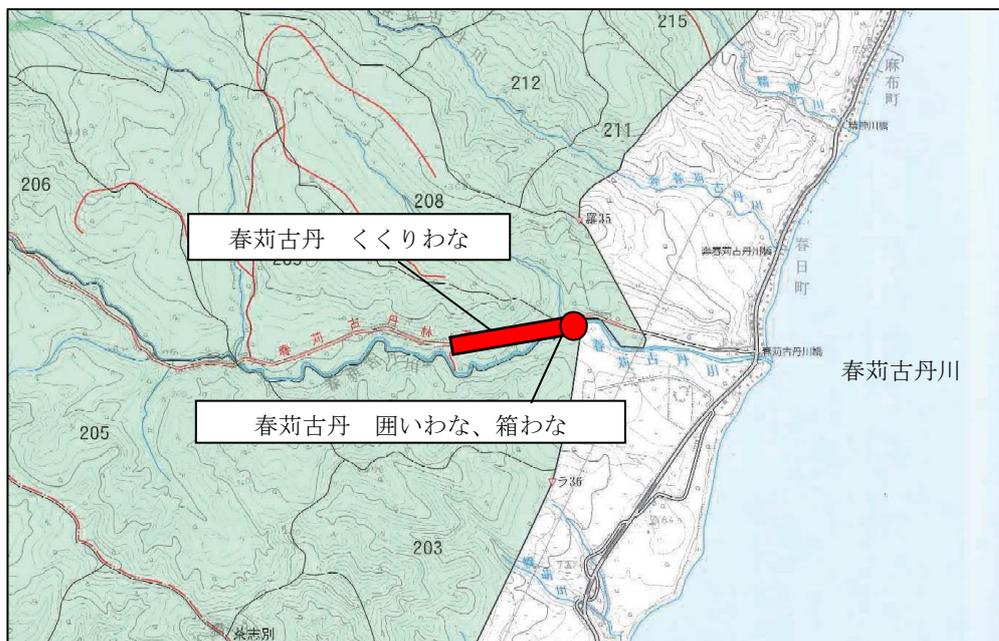


図2：遺産隣接地域におけるR2シカ年度エゾシカ捕獲事業実施地点（羅臼地区）

3 隣接地域（北海道・斜里町・羅臼町）

1) 銃による個体数調整

- ・斜里町では令和2年(2020年)6月～9月にウトロ高原農地で9頭、半島基部農地で86頭捕獲しました。
- ・羅臼町では町有林における巻き狩りと流し猟により、令和2年(2020年)9～10月に75頭捕獲しました。

2) 銃器以外による個体数調整

- ・羅臼町では、令和2年(2020年)6月～令和3年(2021年)2月現在までに羅網及び交通事故等で衰弱した3個体頭を電殺で殺処分しました。

3) 狩猟（北海道）（令和2年度（2020年度））

- ・狩猟期間は、10月1日から始まり、翌年1月31日まで（西興部村猟区・占冠村猟区を除く。）。
- ・エゾシカの可猟期間は、オホーツク管内は10月24日から始まり、翌年2月28日まで（西興部村猟区を除く。）。
- ・斜里町の一部地域においては、捕獲効率の向上を目的として、可猟期間中に中断期間（翌年1月4日から1月15日まで、及び2月1日から2月12日まで）を設定しました。
- ・羅臼町は10月24日から始まり、翌年1月31日まで。
また、個体数調整を図る上で重要なメスジカの捕獲を促すため、全道において、12月1日以降の銃猟によるオスジカの捕獲については、一人1日当たり1頭までとする捕獲数制限を設定しました。